

【国会等の移転に関する特別委員会】

(1) 審議概観

第142回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

2月17日、亀井国土庁長官及び政府委員から国会等移転審議会の審議状況等について説明を聴き、調査対象地域設定後の国民の意識の変化、移転の対象と皇居の移転問題、審議会における首都機能移転に否定的な意見の有無、幾中央高原を調査対象地域に入れた理由、一極集中を排除する観点からの跡地の利用、東京からの距離300キロメートル圏内の意味、東京都との比較考量を行う時期、首都機能移転に伴う文化的側面の検討等について質疑を行った。なお、首都機能の移転について、国土庁長官から、国民的合意がなければ実現できるものではなく、審議会や国会での議論が進むことにより世論も変化するであろう。そうしたことを踏まえて国民の合意が形成されるよう全力を尽くしたい旨発言があった。

また、3月12日、首都機能の移転に関して参考人から意見を聴き、東京臨海副都心の耐震上の評価、東京都及び調査対象3地域の地震に対する安全性、東京の大地震の危険性を移転の理由とする必然性、阪神・淡路大震災を教訓にした東京の整備の必要性、霞が関辺りの地震に対する安全性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成10年1月12日（月）（第1回）

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成10年2月17日（火）（第2回）

- 国会等移転審議会の審議状況等について亀井国土庁長官及び政府委員から説明を聴いた後、同長官及び政府委員に対し質疑を行った。

○平成10年3月12日（木）（第3回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国会等の移転に関する件について参考人武蔵工業大学環境情報学部教授中村英夫君から意見を聴いた後、同参考人に対し質疑を行った。

○平成10年6月17日（水）（第4回）

- 国会等の移転に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。